

株式会社データホライゾン

2022年6月期 決算短信補足説明資料

当社グループは、当連結会計年度より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を適用しております。これに伴い、当連結会計年度における売上高は、前年同期と比較して大きく増加しておりますので、補足説明いたします。

なお、百万円未満は四捨五入して表示しております。

1. 収益認識方法の変更について

当社グループは収益認識会計基準等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

この適用により、従来は契約に定められた請求単位での検収基準により収益を認識しておりましたが、個々のサービス提供が完了し顧客が便益を享受した時点で収益を認識する方法に変更しております。

この結果、従来はすべての業務が完了し請求を行う年度末前後に収益の認識が集中しておりましたが、当連結会計年度より収益の認識が各四半期に分散されることとなりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、当連結会計年度の売上高は1億75百万円増加、売上原価が51百万円増加し、営業損失、経常損失および税金等調整前当期純損失が1億24百万円減少しております。

2. 収益認識会計基準等適用後の前期比較

前連結会計年度に収益認識会計基準等を適用した場合、当連結会計年度の売上高は3億65百万円の減少(前年同期比10.9%減)となりました。

売上高については、前年同期は福祉事務所向けに補助率10/10の補助金対象であった被保護者健康管理支援事業の準備事業を多く受注しておりましたが、当該補助金が2020年12月で終了したため、当連結会計年度は福祉事務所からの受注が減少いたしました。

また、市町村国保向けでは、度重なる新型コロナウイルス感染症拡大により、自治体の職員をはじめ看護師、保健師が新型コロナウイルスワクチン接種の対応に追われるなどの影響により、お客様都合での予算削減や事業中断、重症化予防事業での指導時の感染リスクを理由とした指導人数の減少、新規のお客様からの受注減少など当社事業に影響を受けました。

売上総利益は、売上高減少と外注費の増加などにより5億46百万円減少し12億57百万円となりました。

販売費及び一般管理費は、2023年6月期に新たに遠隔指導による重症化予防指導を拡大するための準備と、2024年6月期に第3期データヘルス計画の作成を中心に需要が大幅に増加することが予想されるため営業体制とサービス提供体制の強化、自治体のDX化に対応したシステ

ムやデータ利活用事業などの新事業への研究開発費投資を行ったことで、1億42百万円増加しました。

これらの結果、営業損失は3億16百万円(前年同期は3億72百万円の営業利益)となりました。

営業外損益では、当連結会計年度に事業拡大に備えた増床のため広島本社が入居中のビルの区分所有権を取得しましたが、一部賃貸不動産も所有することになったため受取家賃ならびに賃貸収入原価が発生しました。また、第三者割当増資ならびに公開買付等に係るコンサル報酬等の支払手数料が多く発生したため、経常損失は3億79百万円(前年同期は3億87百万円の経常利益)となりました。

特別損益では、将来の収益獲得が見込まれなくなった固定資産の減損を行い、減損損失が発生しました。

また、税金費用は、繰延税金資産のスケジューリングを見直し、評価性引当金の範囲が拡大しております。

これらの結果、親会社株主に帰属する当期純損失は4億11百万円(前年同期は3億1百万円の親会社に帰属する当期純利益)となりました。

(単位：百万円)

	前期数値		前期数値 修正後(※)		当期数値		対修正後 前期比	
	前連結会計年度		前連結会計年度		当連結会計年度			
	金額	売上比 (%)	金額	売上比 (%)	金額	売上比 (%)	金額	増減率 (%)
売上高	3,330	100.0	3,355	100.0	2,990	100.0	△365	△10.9
売上原価	1,551	46.6	1,552	46.3	1,733	58.0	181	11.7
売上総利益	1,779	53.4	1,803	53.7	1,257	42.0	△546	△30.3
販売費及び一般管理費	1,431	43.0	1,431	42.6	1,573	52.6	142	9.9
うち研究開発費	141	4.2	141	4.2	223	7.5	82	58.2
営業利益	349	10.5	372	11.1	△316	-	△688	-
経常利益	364	10.9	387	11.5	△379	-	△766	-
特別利益	-	0.0	-	0.0	2	0.1	2	-
特別損失	14	0.4	14	0.4	53	1.8	39	281.9
税引前当期純利益	350	10.5	373	11.1	△430	-	△804	-
法人税等	58	1.7	65	1.9	△28	-	△93	-
当期純利益	292	8.8	309	9.2	△402	-	△710	-
非支配株主に帰属する当期純利益	8	0.2	8	0.2	9	0.3	1	10.3
親会社株主に帰属する当期純利益	284	8.5	301	9.0	△411	-	△711	-

(※) 前連結会計年度に収益認識会計基準等を適用したものとした場合の数値です。

※ 当該補足説明資料は、公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

お問合せ先：株式会社データホライゾン

管理本部長 内藤 慎一郎 ・ 経理部長 富永 美保

(TEL 082 - 279 - 5525)

以上